

<資 料>

和牛産肉能力検定（直接法）

平本圭二

Individual Performance Test of Sire in Japanese Black Cattle

Keiji HIRAMOTO

要 約

候補種雄牛を雄子牛から選抜するため、社団法人全国和牛登録協会の定める産肉能力検定（直接法）を実施した。

- 1 平成14年度には6頭の直接検定を開始し、そのうち3頭の検定が終了した。
- 2 検定終了牛の平均DGIは、1.15kg、平均得点は82.2点であった。
- 3 検定成績、血統及び体型等を総合的に評価した結果、藤幸桜を候補種雄牛として選抜した。

キーワード： 牛、和牛、種畜、産肉能力検定（直接法）、増体量

緒 言

和牛経営においては、繁殖雌牛の産肉性及び種畜性の改良が大きなウエイトを占めており、優良種雄牛の作出が急務である。

そこで、県内優良雌牛から生産された産肉性及び種畜性の優れた雄子牛について、増体性、飼料効率及び種畜性を判定するため、産肉能力検定（直接法）を実施した。

材料及び方法

1 検定牛

肉用牛広域後代検定推進事業により認定された基礎雌牛等の産肉能力育種価の高い繁殖雌牛から生産された雄子牛について産子調査を実施し、発育状況等の優れたものについて検定牛として選抜した。

平成14年度検定開始の検定牛は表1に示したとおりで、父牛別にみると「利花」の産子が2頭、「沢幸土井」、「藤姫丸」、「平茂勝」及び「美津福」の産子が各1頭の計6頭であり、平成14年度中に検定が終了したものは3頭であった。

また、表2に検定牛の産肉形質に係る期待育種価を示した。なお、各期待育種価のランクは表3から転記した。

表1 検定牛

セツNo.	名号	生年月日	登録番号	血統			産地	検定期間
				父	母	母の父		
H14-1-1	藤幸桜	H13.9.8	01子受卵黒1755	沢幸土井	はつひめ5	系 藤	落合町	H14.4.17 ~ H14.8.7
H14-2-1	第6弥生桜	H13.10.30	01子岡黒5520	利花	とよみ3の5	紋次郎	哲多町	H14.6.26 ~ H14.10.16
H14-3-1	哲公13の76	H13.12.10	01子受卵黒5791	美津福	いとはなや	系 藤	旭町	H14.8.21 ~ H14.12.12
H14-4-1	星花	H14.7.28	02子岡黒1337	利花	とみもり	第2富藤	旭町	H15.3.12
	2 平鶴	H14.7.23	02子受卵黒1336	平茂勝	ふくつる2	谷福土井	旭町	
	3 月姫	H14.7.9	02子岡黒1338	藤姫丸	しげとみたか	平茂勝	旭町	

表2 検定牛の産肉能力期待育種価

セツトNo.	名号	期待育種価		
		枝肉重量	ロース芯面積	脂肪交雑
H14-1-1	藤幸桜	- 7.914 (C)	3.319 (A3)	1.299 (1%)
H14-2-1	第6弥生桜	3.681 (C)	3.773 (A3)	1.509 (1%)
H14-3-1	哲公13の76	- 3.378 (C)	4.139 (A2)	1.388 (1%)
H14-4-1	星花	4.135 (C)	2.474 (B2)	1.292 (1%)
	2 平鶴	33.130 (A2)	3.378 (A3)	1.364 (1%)
	3 月姫	31.698 (A1)	2.280 (B2)	1.315 (1%)

注1) ()内はランクを示す

2) 期待育種価は両親の推定育種価から算出

3) 哲公13の76、星花及び月姫は、祖母の育種価から期待育種価を算出

資料：育種価は第16回育種価（H14.12公表）を使用

表3 育種価ランク表

ランク	範囲
1%	上位1%以上
3%	上位3%以上1%未満
5%	上位5%以上3%未満
A1	上位10%以上5%未満
A2	上位15%以上10%未満
A3	上位25%以上15%未満
B1	上位33%以上25%未満
B2	平均以上上位33%未満
C	平均未満

2 検定方法

検定方法は、社団法人全国和牛登録協会の定める和牛種雄牛産肉能力検定法（直接検定）に準拠し、次のとおり実施した。

(1) 検定開始月齢：6～7カ月齢

(2) 検定期間：112日間

(3) 検定飼料

濃厚飼料：社団法人全国和牛登録協会が定める直接検定用飼料を体重比1.5%給与
DCP：12.6%、TDN：70.5%

粗飼料：チモシー乾草を飽食

3 検定調査項目

1日当たり平均増体量（DG）、365日齢補正体重、飼料要求率、体重（2週間毎）
各部位測尺（4週間毎）、終了時審査得点

検定成績

検定成績を表4に示した。

1 増体量

1日当たりの平均増体量は、最高1.29kg（第6弥生桜）、最低0.98kg（哲公13の76）、平均1.15kgであった。

また、365日齢補正体重は、最高427.0kg（第6弥生桜）、最低337.0kg（哲公13の76）であり、平均で383.1kgであった。

2 飼料要求率及び粗飼料摂取率

飼料要求率は、DCPで最高0.51kg（第6弥生桜）、最低0.56kg（哲公13の76）で平均0.54kgであった。また、TDNでは最高3.95kg（藤幸桜）、最低4.75kg（哲公13の76）で平均4.30kgであった。

粗飼料摂取率は、最高47.1%（藤幸桜）、最低44.0%（第6弥生桜）で平均46.0%であった。

3 終了時の発育及び審査得点

終了時の体高は、平均123.5cmであり、3頭中2頭が社団法人全国和牛登録協会の定める和牛発育標準（雄）の平均を上回る成績であった。

また、審査得点は、最高82.9点（藤幸桜）、最低81.2点（哲公13の76）で平均82.2点であった。

4 候補種雄牛の選抜

岡山県和牛改良委員会において直接検定成績、血統及び体型等を総合的に協議した結果、藤幸桜を候補種雄牛として選抜した。

表4 検定成績検定牛

セツトNo.	名号	1日平均 増体量(kg)	365日齡 補正体重(kg)	飼料要求率		粗飼料 摂取率(%)	終了時		終了時 審査得点
				DCP(kg)	TDN(kg)		体高(cm)	発育	
H14-1-1	藤幸桜	1.17	385.4	0.55	3.95	47.1	123.0	4-(5)	82.9
H14-2-1	第6弥生桜	1.29	427.0	0.51	4.19	44.0	126.6	4-(5)	82.5
H14-3-1	哲公13の76	0.98	337.0	0.56	4.75	47.0	121.0	2-(3)	81.2
平	均	1.15	383.1	0.54	4.30	46.0	123.5		82.2

参考文献

- 1) 和牛登録事務必携（平成12年度版）．（社）全国和牛登録協会編, 151-153

